

第七十六回帝國議會
衆議院

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案外一件
委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年一月二十五日(土曜日)午前十時
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松田 正一君

理事宇賀 四郎君 理事樋口善右衛門君

理事高島龜太郎君

小野 謙一君

大橋清太郎君

澤田 利吉君

津原 武君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 廣瀬 豐作君

大藏省理財局長 竹内 新平君

大藏事務官 山住 克巳君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十五年法律第七號中改正法律案(造
幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建
物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經
費ニ關スル件)(政府提出)

○松田委員長 會議ニ入ルニ先ダチマシテ
御挨拶ヲ申上ゲマス、昨日御指名ヲ受ケマシ
テ此ノ席ヲ汚スコトニナリマシタ、何分不慣
レデアリマスカラ、宜シク御支援ノ程ヲ御
願ヒシテ置キマス——ソレデハ是カラ會議
ニ入リマス、昭和十六年度一般會計歲出ノ
財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外

一件ヲ併セテ付議致シマス、大藏省政府委
員ノ說明ガゴザイマス

○廣瀨政府委員 本委員會ニ付託ニ相成リ
マシタ昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ
充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案外一件
ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ御說明致
シマス

先ツ昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ
充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理
由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、
昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ト致シマ
シテハ、現行ノ震災善後公債法及ビ道路公
債法ニ依ル公債ヲ發行致シマスル外、歳入
ノ不足ヲ補填致シマスル爲メ十八億五千九
百三十萬圓ヲ限リ公債ノ發行ヲ要シマスル
ノデ、其ノ起債ノ權能ヲ得ル必要ガアルノ
デアリマス、即チ昭和十六年度一般會計ノ
歳出總額六十八億六千三百二十餘萬圓ニ對
シマシテ、普通歳入ハ四十九億三千四百十
萬圓竝ニ前年度剩餘金八千四百四十餘萬
圓致シマシテモ、尙ホ其ノ不足スル所ノ十
八億七千九百二十餘萬圓ハ、之ヲ公債財源
ニ依ルノ必要ガアルノデアリマシテ、此ノ
内現行ノ公債法ニ依リ調達シ得マスル所ノ
震災善後公債分三百五十餘萬圓、及ビ道路
公債分千六百四十餘萬圓ゴザイマスルガ、
之ヲ差引キ致シマシタ十八億五千九百二十
餘萬圓ヲ調達スル爲メ、歳入補填公債十八
億五千九百三十萬圓ヲ限リマシテ起債スル

ノ必要ガアルノデアリマス、尙ホ從來ノ例
ニ依リマスレバ、昭和十六年度歳出豫算ノ
中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル結果ニ
ナルノデアラウト存ゼラレマスル所、其ノ繰
越額ノ財源デアリマス所ノ公債ハ、必ズシ
モ之ヲ昭和十六年度内ニ於テ發行スルノ
必要ガアリマセヌノデ、之ヲ其ノ翌年度ニ
於テ發行シ得ルコトトスルノ適當ト認メ
マシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デ
ゴザイマス

次ニ昭和十五年法律第七號中改正法律案
ノ提出理由ヲ申上ゲマスルガ、是モ本會議
ニ於テ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、造
幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物
及ビ其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要シマスル
所ノ經費ハ、昭和十五年度カラ同十六年度
ニ亙ル繼續費デアリマシテ、總額三百萬圓
デアリマシタ所、右新營擴張計畫ノ變更等
ヲナスノ必要ガ生ジマシタル爲メ、今回は
ガ所要經費總額百十五萬圓ヲ追加スルコト
致シマシタノデ、其ノ經費ニ充用スル爲メ
造幣局資金ノ中ヨリ更ニ百十五萬圓ヲ拂出
シマシテ、一般會計ニ繰入レルコトトナス
ノ必要ガアリマスルノト、右經費ノ追加及
ビ事業ノ繰延ベヲナス爲メ右繼續費ノ既定
年限ヲ一箇年延長致シマスル關係上、造幣
局資金ノ繰入年度モ亦一箇年延長スルノ
必要ガアリマスルノトニ依リマシテ、本法律
案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

以上兩法律案ニ付キマシテハ、何卒速カ
ニ御賛成ヲ御願ヒ致ス次第デゴザイマス

○松田委員長 此ノ場合御諮リ致シマス、資
料ノ要求ガアリマスガ、例年ノ如ク豫算委
員會ニ出マスル參考資料デ此ノ委員會ニ必
要ナ共通ノモノハ、全部此ノ委員會ニ同付
スルヤウ豫メ政府ニ要求シテ置キマス、其
ノ他ニ御希望ガアリマスレバ御申出ヲ願ヒ
マス

○世耕委員 豫算委員會デ或ハ要求シテ居
ルダラウト思ヒマスガ、私ハ此ノ際參考資
料トシテ御願ヒ致シタイコトハ、事變以後
ノ公債ノ發行高及ビ其ノ消化狀況ガ一ツ、
第二ハ郵便貯金及ビ預金高竝ニ金融業者ガ
保有シテ居ル所ノ公債ノ額、此ノ二點ヲ要
求致シマス、成ベク速カニ御提出ヲ願ヒタ
イト存ジマス

○宇賀委員 私モ今回同僚カラ要求サレタ
モノヲヤハリ欲シイト思ヒマシタケレドモ、
モウ一ツ斯ウ云フモノヲ要求致シマス、即
チ日本銀行ノ兌換券發行デアリマスガ、十
二年末、十三年末、十四年六月末、十四年
十二月末、十五年六月末、十五年十二月末
ノ日銀ノ兌換券發行高ト、其ノ中カラ朝鮮
銀行トカ、臺灣銀行ノ準備金ニ充當シタモ
ノヲ引イタモノ、ソレト其ノ時ニ於ケル日
本銀行ノ手持公債ノ額ヲ御知ラセニナツテ
戴キタイ、モウ一ツハヤハリ政府デ公債ヲ
發行スルト同時ニ日本銀行ニ預金ヲシテア

付託議案

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律
案(政府提出)(第一號)
昭和十五年法律第七號中改正法律
案(造幣局東京出張所ノ廳舎、工
場其ノ他ノ附屬設備ノ新營擴張ニ
要スル經費ニ關スル件)(政府提出
(第二號))

リマスカラ、其ノ預金ノ高モソレニ併セテ表ヲ一ツ作ツテ載キタイ、ソレカラ大藏省デ貯蓄局ヲ作ツテ非常ニ貯金ノ獎勵ヲ致シテ居リマスガ、其ノ貯金ノ獎勵ノ六十億デアルトカ、或ハ八十億デアルトカ、或ハ百二十億デアルトカ云フヤウナ豫想ヲ立テテ居ツテ、其ノ豫想ト實際ハドウ云フ風ニ實現サレテ居ルカ、ソレヲ郵便貯金、貯蓄銀行、普通銀行、特殊銀行、但シ日本銀行ヲ除クト云フヤウニ分ケテ、ソレカラ又民間ノ社債トカ、或ハ株式ニ應募シタト云フヤウナ、何カ大藏省デ貯蓄ノ表ヲ時々發表サレテ居ルヤウデアリマスガ、アア云フモノヲ六月末ト十二月末ニ分ケテ、サウシテ十二年、十三年、十四年、十五年ト云フヤウニ拵ヘテ載キタイ、ソレカラモウ一ツハ十六年度ニ於テモ必ズヤ大藏省デサウ云フ何カ一定ノ計畫ガアルドラウト思ヒマスガ、若シモサウ云フ計畫ヲ御持チナラバ、ソレモ併セテ御示シヲ願ヒタイ、此ノ二ツダケヲ要求致シマス

○松田委員長 他ニアリマセスデスカ――

委員長ヨリ政府ノ方ニ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、時局柄審議ヲ極メテ迅速ニ進メタイト思ヒマスガ、例年資料ノ配付ガ遅レマスノデ、ソレヲ取調ベテカラデナケレバ質問ガ出來スト云フ煩ヒガ毎年アツクヤウデアリマスカラ、本年ハ特ニ資料ヲ早く配付願ヒタイト云フコトヲ要求致シテ置キマス、今日ハ是デ散會致シマシテ、月曜日午前十時カラ開キタイト思ヒマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午前十時三十三分散會